

2014春季生活闘争・妥結情報

No. 8 2014. 3. 31 連合北海道 2014春季生活闘争本部

【賃上妥結集約状況】

3月27日から28日までに妥結報告のあった組合は、7組合で妥結組合は通算56組合となり、集計可能組合は50組合となっている。

【妥結・第50号】3月27日

〔UAゼンセン〕

「サッポロドラッグストアーユニオン」

組合員ひとり平均 4,700円(ベア・賃金カーブ維持分 1.84%)

【妥結・第51号】3月27日

〔私鉄総連〕

「てんてつバス支部労働組合」

組合員ひとり平均 1,000円(ベア分)

いよいよ中小組合の出番、中小組合頑張れ！

連合北海道2014春季生活闘争本部は、3月28日までの中小集中回答ゾーンを終えた。

第1次、第2次集中回答ゾーンを経て中小集中回答ゾーンの最終日である3月28日までに回答・妥結報告があったのは、通算56組合となっている。

このうち賃金集計が可能な組合は、13産別、2地協(地区ユニオン)の50組合で19,972人、全体加重平均での妥結額は5,187円(昨年同期比+435円)、妥結率は2.11%(同+0.13%)となっている。

また、規模別集計では、組合員100~299人の中堅組合の集計では、妥結組合数11組合、1,860人で、加重平均での妥結額は3,469円(昨年同期比+714円)、妥結率は1.59%(同+0.69%)と健闘している。

100人未満の中小組合の集計は、23組合(1,195人)で、加重平均での妥結額は、2,206円(昨年同期比+233円)、妥結率は1.22%(同+0.12%)で、昨年水準を上回っており好状況にある。

これまでの集計で300人以上の組合を中心に、業種では商業・流通、自動車総連(製造系)などで賃金カーブ維持分を確保した上で、ベアを獲得している組合も多く、また、同じ製造系の紙パ連合などの組合では、一時金で前年額・月数を上回って妥結している傾向にある。交通・運輸部門は、ほぼ前年水準を確保している。

非正規組合員(短時間パート・契約社員等)の賃上げ状況は、報告組合が少ないながらも、商業・流通系の組合を中心に、時間給12円から20円以上のアップで妥結している。

今後、4月に入り本格化する中小組合の解決・促進につながる波及効果をもたらす結果であると判断する。引き続き中小回答ゾーンの闘いに結集するよう発信するものである。

